土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川 太田川水系榎川支川11 外 砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	広島県江田島市沖美町高祖地内					**北緯**	34° 15′ 20.7847″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 11月 2日 ～ 2020年 11月 4日			**東経**	132° 23′ 53.0201″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 58.03m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 18°	**使用機種**	
総削孔長	6.00m							**試錐機**	東邦DO-D
								エンジン	ヤンマー TF-90M
								ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1				玉石混じり砂礫		暗褐	rd2		新生代第四紀	古期土石流堆積物。粗～中粒砂を主体とし、所々に最大Φ1cm程の礫を含む。GL-0.20～0.40m、0.45～0.55m、1.75～2.00mに粗粒花崗岩の玉石を含む。玉石はハンマー強打で割れない。また、GL-1.60～1.65m、1.65～1.75mは粘土分を多く含有する。表層から約10cmは土石流堆積物。
2	56.03	2.00		礫混じり砂			rd3			古期土石流堆積物。中粒砂を主体とし、所々Φ1cm程の礫を含む。最大Φ約2cm。
3	55.53	2.50		強風化花崗斑岩		暗緑灰			中生代白亜紀	花崗斑岩の強風化部（軟岩I）。所々に割れ目がみられる、コア長10～20cmの短柱状コア。ハンマー軽打で砕ける。ハンマー打診で濁った音を発する。全体的に、花崗斑岩と花崗岩がまじりあって遷移している。3.5～3.55m付近、4.6m付近の割れ目が粘土化している。【DH級】
4										
5	53.03	5.00		強風化花崗斑岩						花崗斑岩の強風化部（軟岩I）。低角度の割れ目が多くみられる、コア長5～20cmの短柱状コア。ハンマー強打で砕ける。ハンマー打診で部分的に高い音を発する。上層に比べ、水の濁りが非常に早い。【CL級】
6	52.03	6.00								
7										

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	2	4	3	9/300		
	1.45						
60	2.15	9	23	18/50	50/250	250	
	2.40						
100	3.15	34	16/50		50/150	150	
	3.30						
250	4.10	50/60			50/60	60	
	4.16						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/2
					11/3